

神戸市復興計画策定と経緯の骨格（05.1/5）

（この資料は平成17年1月5日に小千谷市で開催されたシンポジウムで基調報告した際の神戸市復興計画に関する配布資料です - 神戸市収入役 金芳 外城雄）

1. 基本方針

- (1) 審議会を設置して諮問・答申を得る。
- (2) 基本方針は3ヶ月で、計画は6ヶ月を目途にすすめる。
復興ビジョンを一日も早く市民に示す
国の支援が絶対に必要となる
これまでの例から6ヶ月が最短であること

2. 取り組みの方向性

- (1) 二段階方式で取り組む
学識経験者27名の検討委員会の設置
審議会の設置
- (2) 重点5項目の選定
ガイドラインの提示は2ヶ月で発表
防災モデル都市 目標10年 安心、活力、魅力
安全都市基準 地域の特色を生かす
- (3) 100名の委員構成
幅広い市民参画を得てすすめる
- (4) 3部構成で審議
市民生活 - 市民の暮らし、協働のまちづくり、防災生活圏
都市活力 - 都市の産業、港湾整備、交通ネットワーク、神戸の魅力
安全都市 - 災害対応、ライフライン、防災都市基盤

3. 復興計画の概要

- (1) 基本的考え方は3点
都市の機能性とゆとり調和を図る
自然の恩恵・厳しさとの共生
ふれあいと交流
- (2) 方向性は4点
安心 活力 魅力 協働

4. 実現に向けた課題は6点

市民生活の早期平常化と都市基盤の早期復旧
復興事業の効果的・効率的な推進 行財政改善の推進
国の強力な支援と地域連携 民間活力の積極的活用 協働の取り組み

5. 分野別の復興計画の推進

みなと、まちづくり、経済、教育、住宅、福祉、防災、生活再建など

5年、10年の総括・検証による点検
時代変化への対応や残された課題への挑戦